

ばばだけ！ 広島サンダーズ

久原 大輝

2012年から今年までの13シーズンにわたり、がむしやらなプレーで見る人の心を魅了してきた安永拓弥選手。普段は口数が多い方ではない。しかし、いざコートに立つと、しんどい練習も率先して取り組み、常に100%の力を出し切ることに全力を注いできた。その姿を

常に力出し切る安永選手

見てきた若い選手たちも、大きな刺激となったに違いない。30歳を超えたあたりから、「今年が最後になってもいい」と、毎年覚悟を持ってプレーを続け、今季の最終戦までスタメンとして、前線で戦ってきた。最後の最後まで、ブロックの堅さはチームナンバーワン。勝負どころで相手の息の根を止めるブロックは、何度もチームの窮地を救い、われわれを魅了してきた。

今までさまざまなことを犠牲にして、サンダーズのために戦ってくれたので、大好きな旅行やゴルフ、お酒を存分に楽しんでほしい。

唐川大志選手とともに、10年前にリーグ優勝を経験した2選手が、今季限りでチームを去る。一時代を築いた2選手が残してくれたものは「努力の大切さ」だ。背中を示してくれた2選手のレガシーを、これからは受け継ぎ、継承していきたい。

(広島Tマネジャー)

得点を決め喜ぶ安永選手④ (4月18日)

